

2014・2・11「建国記念の日」反対 第48回 名古屋キリスト者集会

今こそ、左右の垣根を越えた対話を

—被害者意識の増殖に抗して—

とき 2014年2月11日(火・休日) 午後1時～3時半

ところ 日本キリスト教団 名古屋教会 (名古屋市中区丸の内3-4-5 TEL 052-971-4940)

*****プログラム*****

1:00 開会礼拝 在日大韓基督教会大垣教会牧師 李根秀(イ・グンス)氏

1:30 講演 『拉致問題をどう考える—解決の枠組みを探る—』

講師 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 元事務局長・副代表 **蓮池 透氏**



1955年新潟県柏崎市出身。東京理科大学卒。原子力技術者として福島第一原発3号機4号機の保守担当を経験、2009年早期退社。北朝鮮による拉致被害者、蓮池薫氏の実兄。弟家族の帰国に向けて、長年、被害者家族の中心となって尽力。北朝鮮による拉致被害者家族連絡会、事務局長、副代表として、政府との交渉、マスコミ対応等、家族奪還に向けて活動の最前線に立つ。2002年に薫氏夫妻、2年後には家族全員の帰国が実現するが、その後、家族会内部に食い違いが生じ除名処分を受ける。現在では外交的圧力による強硬手段ではなく、日本の戦争責任を踏まえた柔軟な対話路線による問題解決を主張。被害者家族の高齢化の進む中、独自に拉致問題の全面解決を求めて活動を続ける。東日本大震災による原発事故以降は、東電社員32年間の経験に立って、経済バランスを考慮した計画的な脱原発を提唱する。著書『奪還 引き裂かれた二十四年』『奪還第二章終わらざる闘い』『13歳からの拉致問題—弟と家族の物語』『私が愛した東京電力—福島第一原発の保守管理者として』等多数。

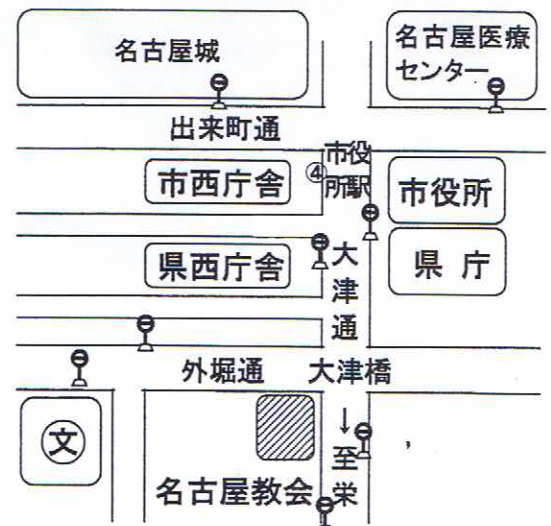
3:00 休憩・質疑応答

3:30 閉会

この集まりも1967年の「建国記念の日」制定以来48回目になりました。わたしたちはこの国の行方に責任があります。今、何をみつめるべきかを、それぞれの立場を超えて、共に目をさまして考えましょう。あなたも是非御出席下さい。

主催 中部キリスト教靖国神社問題連絡会議 (代表 戸田伊助)
(連絡先: 名古屋中村教会 (岩本) TEL 052-411-8024)

後援 名古屋キリスト教協議会 (NCC)
愛知県キリスト教連合会
日本キリスト教団中部教区愛知西地区「靖国神社問題特設委員会」



【アクセス】
名城線「市役所駅」④番出口から徒歩5分